

大垣女子短期大学 B号館

バルコニーに薄層緑化システムプリオセダムを採用



選定された理由

意匠性・癒し効果を期待し屋上緑化を要望された。そこで、耐根性に優れていることと、防水から植栽までの施工がシステム化されていることが評価され、リベトルーフ防水とプリオセダムトレー工法が採用された。

施工のポイント

プリオセダムとプリオデッキの割り付けが複雑なため、墨出しに十分注意した。

大垣女子短期大学B号館新築工事

構造：RC造
所在地：岐阜県大垣市西之川町
発注：大垣女子短期大学施設課
設計監理：株式会社土屋組
施工：株式会社土屋組
施工時期：H16.3
防水施工：株式会社名神
仕様・規模：F-N20 + プリオセダム + プリオデッキ:218m²
MIH-SGM15S:440m²



1.リベトルーフ防水施工完了



2.隅出しの後、PG固定ピンを設置



3.プリオセダムトレーの設置



4.PG固定フックによる固定



5.メンテナンス通路にプリオデッキの設置



6.メンテナンス通路の立上がりレンガ設置



7.緑化完成

大垣女子短期大学は幼児教育科、音楽科、デザイン美術科、歯科衛生科の4学科がある短期大学。環境への取り組みに熱心でISO14000を取得しており、学生及び職員は地球環境問題の重要性を理解し、継続的な改善に取り組んでおり、また社会に貢献できる人材の育成を目指すため、健康・母体の保護・防災・地球環境及びモラル・マナー等の全人教育をふまえ、学内外全面禁煙である。